

「越前市空家等対策計画（素案）」に関するパブリック・コメント結果

案件名	越前市空家等対策計画（素案）について							
実施期間	平成27年12月15日（火）～平成28年1月15日（金）まで							
趣旨	「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年5月に施行され、市町村が空家等対策計画を定めることができるとされたことから、越前市においても計画を策定し空家等対策を総合的かつ計画的に取り組んでいきます							
意見提出者数 （件数）	2人（4件）							
		30代	40代	50代	60代	70代	未記入	合計
	男性					1		1
	女性				1			1
合計				1	1		2	
意見に対する回答	以下のとおり							

No	年齢 性別	該当する箇所	ご意見の要旨（原文）	越前市の回答
1	60代 女性	空家等対策計画全般	なぜ、空家になるのか調査する必要がある。	平成25年住宅・土地統計調査によると、近年の人口減少や核家族化、既存住宅の老朽化等を背景に空家は増加傾向にあり、その空家が原因で地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがあることから、全国的な社会問題となっております。 国の空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための基本的な指針では、所有者等の転居や死亡、経済的な事情等が空家となる主な要因であると指摘しています。
2	70代 男性	空家等対策の具体的な取組み 【有効活用】	空家を高齢者対策に利用してはどうか。いきいきシニアクラブも、高齢者のサロン活動を推進している。このサロン活動の場として、空家を活用してはどうかと考えている。 各町内の空家を、それぞれ1軒ずつ高齢者が自由に集う事の出来るサロン活動の場所に指定して、スロープ・手す	空家を解消するには、空家等の流動化を促し、利活用や建替えを含めた流通を進めることが重要です。 市では、住み慣れた地域でいつまでも健康で、また安心して暮らせることを目的に介護予防の取組みを推進しています。その体制づくりとして、地域の高齢者やボランティア活動の拠点となる介護予防拠点施設の整備改修費用

			りなども設けてトイレなども考慮して、高齢者が安全に使用できるものに市が整備をして、各町内のシニアクラブ・老人会が管理するものにしたらよいと思う。	の一部を補助する「高齢者介護予防拠点整備事業」を活用した、町内の空家や集会場の施設整備を推進しているところです。 また、空家及び空店舗を利用した市民活動拠点施設を新たに開設する団体に対して補助金の交付や家賃補助を行う「空家・空店舗等活用コミュニティ推進事業」を拡充し、これら補助事業を有効に活用した空家解消施策を進めることとしております。 【第4章第3節 有効活用】
3	60代女性	空家等対策の推進体制【相談窓口の設置】	一人暮らしの家等が空家になる前に、今後のアイデアや情報を伝えて相談にのってあげる必要がある。	住民等からの空家等に関する相談に対して迅速に対応するため、防災安全課に総合相談窓口を設置し、空家にならないための市の支援事業の紹介や空家の有効活用及び解体等に関する相談に対応するなど、体制の強化を図ることとしております。 【第5章第1節 体制の整備】
4	60代女性	空家等対策の推進体制【体制の整備】	市民課と連携していち早く空家を見つけ、対策計画につなげる必要がある。	空家等対策を効果的かつ効率的に実施するため、関係部局が連携して空家等対策に対応できるよう庁内推進会議を組織し、随時開催する中で市民課はもとより全庁体制で対応することとします。 なお、年一度、各区長に対して空家の変動調査を依頼し、早期に空家情報を把握するなど、地域コミュニティと連携した情報収集体制を整えております。 【第5章第1節 体制の整備】